

夕張市議会だより

2018年6月1日

第41号

夕張市議会だより編集委員会



平成30年2月6日
ゆうばり小6年生との意見交換会

平成30年第1回定例市議会

第1回定例市議会は、平成30年3月7日から20日までの14日間を会期として開催されました。16日は、行政常任委員会を開催し、付託された平成30年度の予算審査を行いました。

夕張市議会の果たすべき役割を念頭に
市民・行政・議会
一体となつて

議案

- ◎平成30年度夕張市一般会計予算
- ◎平成30年度夕張市国民健康保険事業会計予算
- ◎平成30年度夕張市市場事業会計予算
- ◎平成30年度夕張市公共下水道事業会計予算
- ◎平成30年度夕張市介護保険事業会計予算
- ◎平成30年度夕張市後期高齢者医療事業会計予算
- ◎平成30年度夕張市水道事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市一般会計補正予算
- ◎平成29年度夕張市国民健康保険事業会計補正予算
- ◎平成29年度夕張市公共下水道事業会計補正予算
- ◎平成29年度夕張市介護保険事業会計補正予算
- ◎平成29年度夕張市後期高齢者医療事業会計補正予算
- ◎平成29年度夕張市水道事業会計補正予算
- ◎夕張市職員給与条例及び夕張市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- ◎退職手当支給条例の一部改正について
- ◎手数料条例の一部改正について
- ◎夕張市郷土文化施設設置条例の一部改正について
- ◎ゆうばり文化スポーツセンター設置条例の一部改正について
- ◎夕張市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎夕張市介護保険条例の一部改正について
- ◎夕張市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について
- ◎夕張市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◎夕張市地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例の一部改正について
- ◎夕張市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
- ◎夕張市営住宅条例の一部改正について
- ◎夕張市賃貸住宅条例の一部改正について

部改正について

- ◎夕張市火災予防条例の一部改正について
- ◎財産の取得について
- ◎指定管理者の指定について

報告

- ◎専決処分報告について
- ◎例月現金出納検査の結果について

(平成29年11月)
平成30年1月分

意見書

- ◎障害児の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

(提出議員 本田・小林・今川・熊谷・君島・千葉)

(提出議員 本田・小林・今川・熊谷・君島・千葉)

- ◎地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

(提出議員 千葉・本田・小林・今川・熊谷・君島)

決議

- ◎閉会中の所管事務調査について

ご意見・ご感想をお寄せください

本町4丁目市役所内
夕張市議会事務局
電話 52-3172
又は 52-3131
までお願いします。

編集委員

人哉二子子夫勝
靖和修澄桂孝
田川山間谷島葉
本今大高熊君千
委員長 員員員
委員 員員員
委副委委委委
委員 員員員

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えるために、「夕張市議会だより」を発行しています。
市役所本庁・南支所及び各ふれあいサロンにも配布しております。

大綱質問と 答弁内容

大山修二議員質問

市立診療所の 移転について

問 昨年の市政執行方針で市立診療所を「清水沢地区」に移転するとしていたが、「本庁・若菜地区」に変更した具体的な理由について

答 一つ目は、JR石勝線夕張支線の廃線後の南北軸の交通体系について、路線バス等の運行に一定の目的が立ち、利便性が確保できる見込みとなったこと。二つ目は、「本庁・若菜地区」に移転することにより、社会医療法人制度を活用して耳鼻咽喉科・泌尿器科等の専門外来を維持し、一般内科・夜間救急体制の確保が図られること。三つめは、指定管理者である豊生会との協議結果、受診者の多くを占める北部地区の医療を確保し、市内の医療バランスを保つこと。

このような事を勘案し、移転場所を「清水沢」から

「本庁・若菜地区」に変更する方向で進めたい。

問 医師会・豊生会との協議について

答 これまでも、新しい診療所が求められる機能を確保した上で、持続可能で市民が安心して利用することができる施設となるよう協議を重ねてきたところだが、今後とも地域医療の現状や課題を共有しながら、しっかりと連携していきたい。

問 平成34年度開設に向けた取組みについて

答 平成30年度においては、市立診療所等移転改築検討協議会を継続して開催し、新しい診療所の役割や機能等について整理を進めていきたい。また、基本構想・基本計画の策定についても取組んでいきたい。

新しい診療所は、市民の安全・安心を確保する上で不可欠な施設であることから市民の皆様をはじめ、関係する皆様の意見を充分に伺いながら進めてまいりたい。



高間澄子議員質問

教育環境の 充実について

問 夕張高校魅力化プロジェクトの取組みについて

答 公設塾の年間プログラムはアドバイザーの意見を聞き詳細を検討している。開設日は4月中を予定しており、参加生徒数の見込みについてはプレイフルストーリーで高校生15名の参加があった。受講料は検討中だが数千円程度を予定。また、保護者の所得に関係なく料金を設定したい。

キセキの授業は、学力向上、受験対策のサポート、コミュニケーション能力を養うプログラムを実施していく。市内外各分野で活躍する方を人材バンクに登録し生徒の希望する講師、企画内容を市・塾講師でサポートする。

海外短期留学は来年度から費用の支援をし、実施内容は夕張高校で検討しているがアメリカ合衆国ハワイ州を選定予定と聞いている。参加人数は初年度は、1、2年生を中心に10名程

度を予定している。留学先での研修カリキュラムの企画については、夕張高校としっかりと連携して行く。

入学時諸費補助については、制服、体育用ジャージ等、教科書の購入に要する実費を支援する。

教育行政 執行方針における 重点課題について

問 確かな学力を身につける教育の推進について

答 ICTを活用した小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話システム充実の具体策については、今年度小学校で通信環境の整備とタブレットを導入した。今後電子黒板等の活用を図り学習意欲向上に努めていく。現在順調にレッスンが行えていることから平成30年度は、小中高の児童、生徒に対して年間10回から20回程度の活用を予定している。

中学校での「学習支援事業」の必要性の検討については、学校長と今後の進め方について相談しており学校現場と十分に協議しながら

らニーズ調査を行い、その結果を踏まえ事業の実施場所、サポートする人員体制等考慮しながら、人材バンクの活用を視野に入れ、協議、検討を進めていく。

本田靖人議員質問

交通、 都市拠点について

問 JR石勝線夕張支線の廃線に関するJR北海道との協議について

答 南北軸を10往復程度運行する路線バスを20年間維持するための運行補助費用、バス運行に係る初期投資費用などを想定して、7億円程度の拠出金の支出をJR北海道に求めている。

路線バスの維持期間を20年間としたのは、財政再生計画の残年数や他路線の廃線時において拠出のあった年数等を考慮した。

(路線を廃止する場合、廃止日の1年前までに国土交通大臣に届出をする必要があることから)本協議については、JR北海道社内ですピード感をもって検討されているものと考ええる。

拠点複合施設の供用開始とJR石勝線夕張支線の廃線にタイムラグが生じる可能性があるが、南北軸の路線バスの拠点複合施設乗り入れを前提とした運行ダイヤ・経路の調整を進め、拠点複合施設供用開始までは、暫定ダイヤで対応することが想定される。

問 JR石勝線夕張支線の廃線後について

答 代替交通の運行を担うタクシース会社の人材確保に向けては、第二種免許の取得等を「夕張市資格取得支援事業補助金」の対象資格とする等の支援をしている。

JR運賃よりもバス運賃のほうが高額とならないように、激変緩和措置を行う費用も7億円の中に含めて試算している。

新夕張駅からJR線を利用している市民にとっても、特急料金負担や便数減少などの負担増とならないよう、JR北海道と救済措置を検討したい。

問 拠点複合施設の整備について

答 観光情報や図書情報、市政、各種団体の活動など幅広い情報発信ができるよう

に整備していきたい。

問 1日乗車券やバスの位置情報提供システムの導入検討について

答 最終的には、運行事業者が判断することだが、観光客の利用促進や路線バス利用者の利便性向上に向けて、運行事業者に対して働きかけを実施したい。

今川和哉議員質問

「都市拠点整備」について

問 平成30年度から、都市拠点の核となる拠点複合施設の建設工事が着工される予定となっているが、魅力的な都市拠点となるためには、拠点複合施設と交通結節点ができるだけでなく、この近隣も含めた利便性も合わせて重要と考える。

そこで、拠点となる複合施設と市内バスの交通結節点のほか、民間の商業施設や店舗を含めた一体的な周辺環境整備が必要ではないかと思うが、市長の考えを伺う

答 平成31年度中の供用開始となるこれらの拠点複合施設が有する機能により地域

の魅力が高まることによって、民間商業施設などが進出することを期待している。

問 拠点複合施設におけるソフト事業について、現在考えている手法と、そのスケジュールについて伺う

答 拠点複合施設におけるソフト事業は、拠点複合施設での管理・運営方針として、子育て世代同士、多世代間での交流や、情報交換の促進、子どもたちの学習や運動のきっかけ作りを目指している。このため、市としては今後利用関係者等とともに施設利用ルールや実施する事業内容について検討し、市民の誰もが利用したくなる魅力ある施設作りに努めていく考え。

問 民間商業施設の進出を促進するための施策について

答 拠点複合施設の建設が最終的に決まってきた中で、民間施設の進出等の期待が出てくるだろうと考えている。

問 ソフト事業を検討する組織を作る予定について

答 利用関係者の中で、ルールを決めていく枠組みが必要だろうという認識をして

おり、その中身についても今後詰めていきたい。

問 拠点複合施設で、市民の方が企画を行いたいという構想があつたときに、それを支援するシステムなどは検討しているのか

答 拠点複合施設が新たにできることによって、今までやってきたことに加えて新しくやりたいということも是非促していきたいと思うので、各利用者の方を支える内容については検討していかねければならないと考えている。

熊谷桂子議員質問

「真の地域再生に必要な施策」について

問 保育料の更なる負担軽減策、及び保育士の処遇改善策について

答 国の制度改正に注視しながら、負担軽減・処遇改善に取り組む。

【意見】 保育料「第2子から無償」は7割の市町村が導入と報道されている。また、市内出身者が保育士免許を取っても、待遇の良い

他市町へ就職する。ハンカチ基金やその他の子育てや教育への寄付金なども含め、是非さらなる充実を。

教育環境の充実について

問 「集落コミュニティ再生」とは、具体的にどのようなことを行ふのか

答 この10年間の負のイメージから、地域を守る様々な取り組みを行ってきたことで、「夕張に学ぼう」という新たな風が吹き始めた。夕張との関係を構築したいという外の人たちと、新しいことを起こそうという市民をつなぎ、外からの知恵・人材とともに新しい可能性や価値を創出したい。

【意見】 財政破綻の際、バッシングを受けた会計操作について、全国で85自治体が行っており、北海道庁は今でも行っていることが新聞報道されたが、多くの市民は知らされていない。

今春リニューアルオープンする石炭博物館では、夕張130年の歴史の中で、命がけで石炭を掘って日本

の発展を支え、与えられた苦難を踏み越えてきた歴史をしっかりと学び、理解できる展示をすることで、傷つけられた誇りも取り戻せると考える。

歴史的な過去をしっかりと総括し、現在の過疎と高齢化の課題先進地から、未来の課題解決先進地へ、たくさんの夕張応援団の力を借りて、地域を再生させ、発信する執行方針に期待する。

君島孝夫議員質問

「交流人口の拡大・関わり人口の創出」について

問観光戦略の策定について
答観光推進体制の一元化の取り組みについて、昨年7月から(株)ANA総合研究所より社員の派遣をいただき、産業振興課内に観光推進チームを併設し、推進体制を確保した。現在、「観光プロモーション推進協議会」のメンバーを中心としながら、本年秋を目指している。平行して、観光推進の方針を定めるべく

「夕張観光戦略基本計画」の策定に向けて、市内の観光関係団体を構成員とする「夕張市観光戦略策定に向けた検討会議」を設置し、検討を開始した。今後は、観光団体と民間事業者の意見を聞きながら、「観光推進の一元化」に向けた取り組みを推進するとともに、「夕張観光戦略基本計画」の平成30年度策定に向け、検討を加速させていく。

問民間事業者の活動サポートについて

答来年度は歴史文化や観光、交通再編成をはじめとしたまちづくりなどのさまざまな視点から、夕張が大変注目される一年になると考えている。夕張を訪れてくださる皆様に、おもてなしの心を持って市民一同、歓迎をすることが重要であり、夕張が持つメロンなどの特産品や、観光資源・歴史的遺産を最大限活用しながら、夕張の魅力を発信し、夕張ファンの方々に今以上に獲得するチャンスであると考えられている。

問プラットホームの構築について

答夕張に関心を寄せてくだ

さる多くのふるさと応援団の皆様がおられることを心強く感じている。日頃から夕張の歴史・文化を通じて地域活性化に尽力されている「清水沢プロジェクト」の活動などに共感する方々が着実に増え続けていると感じている。北海道150年、夕張130年の節目の年に、来年度から石炭博物館の管理をお願いする「炭鉱(ヤマ)の記憶推進事業団」と共に石炭博物館を交流の場・語り合う場、フォーラム開催の場として積極的に取組んでいきたい。

千葉 勝議員質問

学校運営協議会(コミュニティスクール)について

問学校運営協議会の役割について

答コミュニティスクールは、学校運営に関する基本方針並びに教育委員会、校長に意見を述べることでできるなど、具体的な権限を有しており学校運営に対する当事者意識を持ち、共に行動する体制を取ることが

できる。また、これまでの「学校支援地域教育協議会」「小中学校サポート会議」として取り組んできた協議会を一本化したものがコミュニティスクールと考えている。

問教育現場の負担軽減への具体的方策について

答北海道教育委員会の資料によると、コミュニティスクールに関する事務量が増えると云うことは否定できない。

しかしながら、それを補ってもあまりある授業改善が図られ、教育の質が向上されると報告を受けている。

つまり、学校が地域と関われる余裕ができ、教職員は児童生徒と向き合える時間が増えたと理解している。初年度から直ぐに効果が出るわけではないが、導入済みの学校では、3年程度で効果がでているとのことなので、様々な活動を行いながら、学校及び児童生徒のため地域と共に進めていきたい。

問地域と情報を共有するための周知方法について

答これまで、広報ゆうばり11月号への掲載、幼小中の

保護者に配布している。

「まなびーば」11月号・12月号・2月号への掲載。11月17日には、市民向けの制度説明会を開催しています。このような内容で市民周知を図ってきた。今後は、広報ゆうばり4月号への掲載及び例年5月に開催している市長とのふれあいトークでも市民の皆さまに説明して、活動の場を広げていきたいと考えている。

【意見】学校運営協議会は学校と地域が夕張の子どもたちをどんな子どもに育てるかを話し合う組織です。地域が学校に係わるためにも情報提供をお願いしたい。

行政常任委員会(予算審査)

平成30年度各会計関連議案を審査する行政常任委員会(大山修二委員長)は、3月16日に開催し、付託された一般会計予算など11議案を審査しました。

審査は、冒頭、大綱的な質疑を行った後、一般会計予算案の歳出から款毎に順次、各会計の審査を行った結果、一般会計予算、5特

別会計予算と水道事業会計予算、及び関連議案の11議案について全会一致をもって、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

大綱質問と 答弁内容

本田靖人議員質問

財源確保策について

問 抜本的見直し時の財政再生計画と比べて、来年度予算の地方交付税額と繰入額が大幅に増減している理由について

答 国から示された、平成30年度の地方財政計画の交付税の伸び率等を勘案して計上した結果、地方交付税額が減額となった。

問 次年度以降も地方交付税が減額となった場合、財政再生計画を実行していくうえで新たな課題が生まれてしまうが、総務大臣との間で話し合いをされているのか

答 今年1月に野田聖子総務大臣と面会し、計画期間中の財源確保について、引き

続き支援していただくよう要請し、ご理解をいただいたと考えている。

問 ふるさと納税の現時点での納税額と来年度の目標額について

答 2月末時点で約3億4千万円の寄附が寄せられている。来年度の目標額については、あくまで善意で寄せられる寄附であることから明確に定めていないが、財政再生計画においては、9千900万円を見込んでいる。

今後は、お寄せいただいた寄附の使途を寄附者に報告するなどの情報発信により寄附実感を持つてもらうことや新たな返礼品の開発等を検討することなどによって、ふるさと納税の確保に努めていきたい。

問 ふるさと納税の寄附者満足度向上策について

答 小中高一貫で実施する「マンツーマンオンライン英会話」の取組みは、北海道で初の大胆な取組みであり、寄附者に寄附実感を持つていただく好事例であると考えている。今後も、寄附者に寄附実感も持つていただくことを意識しながら、取組みを進めていきたい。

小林尚文議員質問

観光施設の解体・ 維持管理について

問 「石炭の歴史村公園内の旧売店施設の解体工事」と「幸福の黄色いハンカチ想いで広場」の改修工事について、平成30年度に実施する理由について

答 4月28日にリニューアルオープンする石炭博物館の来場者の増加が見込める。旧売店の老朽化が著しく、安全を確保するために解体する。

幸せの黄色いハンカチ想いで出広場の来場者数は前年比19%増、観光の目玉となり得る。排水補修工事及び園路補修工事を行い、車いすでの来場者にも配慮する。

問 公園内にはほかに老朽化した施設等がある。計画的に解体する予定があるのか

答 市内には園内以外にも老朽化した施設があり、優先順位、緊急性も視野に入れた計画的に除却する。

問 来場者の影響を考慮し閉館後の11月以降が適切であると考えている。

問 周辺の環境整備の考えはあるのか

答 石炭博物館の指定管理者とも協議し、可能であれば検討していきたい。

議会行事報告抜粋

● ゆうばり小学校6年生との意見交換会（2月6日）
平成29年度夕張市議会議員並びに夕張商工会議所役員との政策懇談会（2月6日）

● 空知教育センター組合議会平成30年度第1回定例会出席（2月27日）

● 平成30年度南空知ふるさと市町村圏組合議会第1回定例会出席（2月28日）

6年生との意見交換会

今年で7回目となる「ゆうばり小学校6年生との意見交換会」を2月6日に実施しました。

冒頭に議長から議会の仕組みについて説明をした後、児童から質問や要望を受け、議員が答弁するかた

ちで進行しました。今回は、除雪に関する質問や要望が多く出されました。

答弁を担当する議員は、事前に関係部署へヒヤリングに行くなどの情報収集を実施し、的確な答弁に努めました。

時間の関係で児童全員が発言することはできなかったのですが、事前学習の中で身の回りのまちづくりに関わる課題について、各々が考える時間を持つことは非常に意義深く、彼らの中から将来の市長や議員が生まれることを期待します。



夕張市の借金の事、知っていますか？

322億円

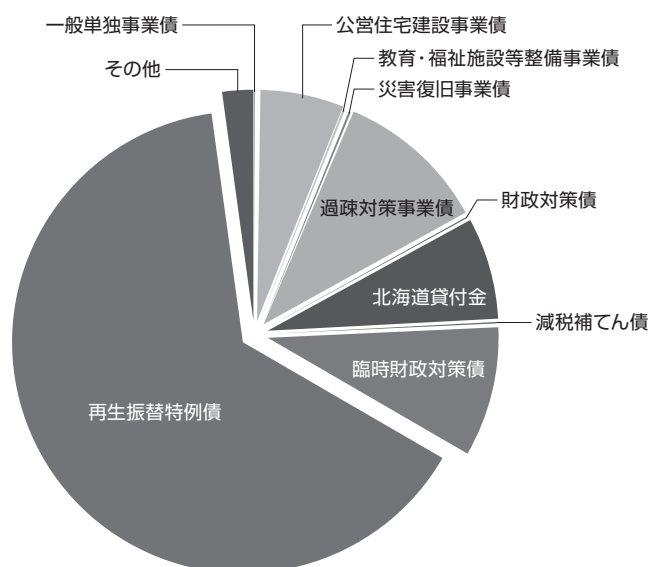
夕張市の借金として、聞いたことのある金額だと思います。

平成38年度まで毎年**25.6億円**ずつ返済してしていかなければならない市の借金の一部です。（平成29年度末の残高は、**214.7億円**となる見込みです。）

この借金は、「再生振替特例債」といって、いわば財政破綻前に抱えていた赤字をひとまとめにした借入で、毎年分割で国に返済していることになります。

この他に、財政再生団体となった今でも、総務大臣の同意を得て、市営住宅を建設するなどの目的で新たに借り入れを起こしています。再生振替特例債を除く平成29年度末一般会計地方債残高（見込）は、**118.3億円**となっています（図1）。

年度ごとの借金返済額が、その自治体の財政規模に対してどの程度の割合となっているのかを示す「実質公債費率」を見てみると、再生振替特例債を除く夕張市の状況は、早期健全化基準（イエローカード）である25%以下の**16.7%**となっています。なお、財政再生基準（レッドカード）は35%以上。



【図1】 地方債残高割合（平成29年度末見込）

降 順	市町村名	実質公債費率
1	夕張市	76.8
2	赤平市	17.6
3	白老町	17.1
(4)	※夕張市	16.7
4	網走市	15.2
7	美唄市	15.2
8	由仁町	15.1
21	栗山町	13.3
144	岩見沢市	5.9
全道平均		7.7
全道平均（札幌市除く）		9.3

財政規模に対する借金返済額の大きさの割合
大
小

「健全化判断比率等の状況（平成28年度決算）」【北海道発表】
※再生振替特例債を除いた数値で特別に算出（参考数値）

【図2】 実質公債費率比較表（再生振替特例債抜き）

新たに借金をする理由

過大な債務により財政破綻した過去の経験から、市が借金をすることがあまりよくないことだと感じる方が多いことと思いますが、自治体が建物を建てたり道路をつくったりする際に新たな借金（地方債の起債）をするのは、市民負担の公平性を維持するためでもあるのです。

地方債の起債は、原則として建設事業費等の財源調達の場合に認められます。つまり、長期的に市民が利用する施設やインフラ整備のための借金であり、一時的な財政負担で建設すると、その時に市民だった人たちだけで建設コストを負担することになり、完成後に市民になった人たちは施設等を利用するものの、負担をしていないことになります。また、市の予算の大部分を建設費に充てることになるため、建設する年度にあらゆる住民サービスが提供できなくなる恐れもあることから、計画的に長期返済をするようにしています。

夕張の財政再建を国・道も支援

再生振替特例債は、300億円を超える大きな借金のため、毎年支払う利息も大きく年間で約3.8億円（平成28年度）にもなります。夕張市の財政再建を支援するために、この多額の利息の大部分を国（4/6）と道（1/6）で負担してきました。昨年度の財政再生計画の抜本的見直しにおいて、さらに支援の幅が広がり、現在は市の利息負担はなくなりました（国が5/6を負担）。このことにより、夕張市は財政再建と地域再生の両立の幅が広がったと言えます。

地域再生に必要な地方債の起債が適正に行われることを議会もしっかりと監視していきます。